



平成24年10月15日

8 7 6 5 4 3 2
面 面 面 面 面 面 面

視地こひス青み上暮町ワ
点域どとボ年ん片ら史1
・をものすツ家のな桐し探ク
・知の詩ぼ・だ仲史の訪シ
べん講・つ情より良め知識を学
ん座俳句・報りくぐりぶ講
草 短歌 映画会 座



まつかわ百景 ⑥5

「アサギマダラ」(清泉地一)

アサギマダラが長距離を渡っていくことはよく知られているが、例年10月上旬ごろ町内の花畑でも吸蜜する姿を数多く見ることができる。

天高く澄みきつた秋の青空が続いております。文化のお祭り、松川町文化祭も町民多くの方のご協力を頂くなかで19回を迎えることになりました。この10月26日(金)から28日(日)までの3日間町民体育館アリーナで開催いたします。

振り返ってみますとバブル経済の余韻がまだ残る時代、5人の有志によって始められました。町の歴史の流れの中では清流苑が開業した頃でもありません。

当初は中央公民館と町民体育館の両会場を使つての大盛況でしたが、公民館クラブ活動の変化の中で、とりわけ高齢化によるクラブ員の減少が大きな形となつて表れてきております。

趣味は若いうちから探しておけとは良く言われますが、経済が低迷するなか現役世代は仕事一筋でこれも止むを得ぬことかもしれません。定年

主張

第19回松川町文化祭を迎えて

後見い出した趣味は残された生涯の中で、やらずに悔いを残すより、やつて階段を昇ることの方が良かったというクラブ員の声が聞かれます。松川町文化祭は町の援助も頂くなか自主運営で開催を続けてきました。大変な事もありますがクラブ参加者のみならず、初心者から県展に入賞するような玄人はだしの方まで町民どなたでも出展できます。

本年は開会式には松川高校書道部の皆さんによる書道パフォーマンスがあります。また、東日本大震災には町内から多くの支援がおこなわれておりますが、その中で7団体が活動報告として展示発表をしてくれま

26日と27日の夜は9時までご覧になれます。一堂に会しての展示はきつと皆様の琴線に触れるものと思ひます。来年は貴方もどうぞご参加下さい。

文化祭実行委員長 水野邦美

～集う・学ぶ・結ぶ～

新しい公民館に求めるもの

老朽化した中央公民館の改築に向け、どのような公民館にしたいのか住民の意見を出し合うワークショップが8月から月に一度のペースで開かれています。ワークショップ

委員には、公民館をよく利用する各団体や、これまであまり利用してこなかった方、若者から高齢者まで多くの町民の方が参加しています。公民館本館の社会部、体育部、編集部

はじめは、ワークショップ委員が公民館に対してどのような思いを持っているのか、各自の頭の中を整理することを目的に、新しい公民館づくりに対するキャッチフレーズをみんなまで考えました。各自で考えたため30以上のキャッチフレーズが出

ましたが、それらをまとめてみると共通する公民館へのイメージがあることがわかりました。

そのイメージとは：

【集う】世代やしがらみを越えて交流する。
【学ぶ】活動する、多



熱い思いで意見を出し合う参加者

目的に使う、生涯学習、未来を描く。

【結ぶ】人の和が生まれる、みんながつながる出会いの場。大きくわけるとこの3つに集約されました。

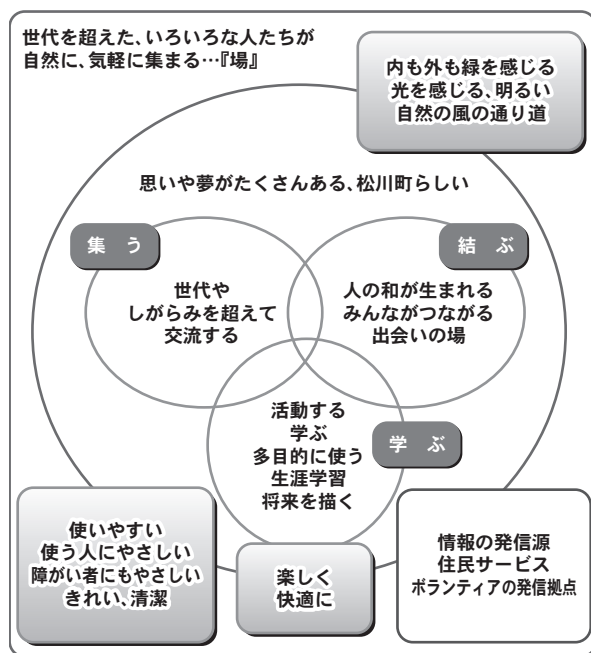
実は、この【集う】【学ぶ】【結ぶ】という3つは、公民館の理念と同じであり、公民館に求められるものが明確に、そしてこれまでと変わらないことがはつきりしました。

この3つの思いを基本とした上で、建物そのものには、明るさや清潔感、使いやすさ、情報発信などがさらに求められています。

イメージの話から、具体的な使い方へと、新しい公民館に対する話も移ってきています。音楽活動やダンスなど、音の出る活動も盛んに行われる公民館では、防音設備の整った空間が強く望まれています。また、現在の大広間よりも広いホール、開放的なロビーも多く出された意見です。もちろん、プライバシーを守る空間や、小さな子が安心

して過ごせる部屋、和室、障がい者でも使いやすい工夫なども意見として出されています。全てを実現できるのかは別としても、公民館に求められるものは多種多様です。そこには厳しさもありますが、住民が集う楽しい空間となることにも希望が持て、今後のワークショップも重要な場となります。

〈使い方に対する意見〉



キャッチフレーズから導きだされた新しい公民館のイメージ

甲斐の国へ

台城からつながる武田信玄ゆかりの地

松川町史探訪の会 光澤正之

大島城最後の城主の墓

松川町史から台城の歴史を学び、台城が武田信玄によって改築された武田流築城術の城であることを知った「町史探訪の会」では、いよいよ「武田」の本拠地、甲斐の国山梨県を訪れました。



大島城最後の城主が眠る光村寺山門にて

今回の探訪は、9月13日(木)に行われ、18人の会員が参加しました。

まず訪れたのは、日向山光村寺(北杜市)です。光村寺は、大島城が武田信玄の支配下にあったころ大島城最後の城主となった日向大和守が開いたお寺です。日向大和守は、勝頼が亡くなったことを知ったあと自害し、光村寺に埋葬されています。参加者は、最後の大島城主であったことに想像を膨らませながらお墓に手を合わせました。

台城と同じ武田流の城

次に訪れたのは、新府城(韮崎市)です。新府城は韮崎の七里岩の地形を生かした高台にある城で、信玄亡き後、息子勝頼が築きました。三日月堀や丸馬出など「武田流築城術」の特徴が随所に残されており、台城の築城で培った技術をこの新府城に活かしているともいえるつくりとなっています。(新府城は未完成のまま落城している)

武田家滅亡の地

続いて訪れたのは、景德院(甲州市)です。ここは、武田勝頼と北条夫人、嫡男信勝の墓がある寺院です。勝頼は、追っ手からの逃げ場を失い、自害し、武田家は滅びました。景德院そのものは、勝頼の供養のために徳川家康が建てた



中央の高い塔が勝頼の墓(景德院)

ものですが、境内には、勝頼と信勝が自害するとき座つたとされる岩も安置されています。

神様になった信玄

甲斐の国探訪の最後は、武田信玄の本拠地「躑躅ヶ崎館」である、現在の武田神社(甲府市)です。私たちの住む伊那谷にも多くの影響を残した武將、武田信玄。現在はこの神社の祭神として祀られています。境内には宝物館があり、信玄ゆかりの武具や書物などが展示され、見学してきました。(宝物館は撮影禁止でした) 武田神社は、明治時代に武神や軍神を祀る動きが盛んに

なり、信玄もその動きの中で神格化され、建てられた神社であるため、信玄亡き後すぐに建てられたものではありません。しかし、江戸時代の300年を過ぎても神社創建の動きが出るほど地元の人々から愛され続けてきた信玄の存在の大きさを改めて感じられる場所でした。



平日でも大勢が参拝に訪れる武田神社

台城の学びから県外にまで広がったこの探訪で、何気なく足を運ぶ台城が奥深い歴史を持つ場所であることを、今回も改めて感じる事ができ、また調べることができ、松川町史探訪の会のおもしろさです。

第3回暮らしの知識を学ぶ講座 「詐欺から身を守る」

人と人との絆が大切！

講師：長野県飯田警察署 生活安全課防犯指導係長 警部補 筒 賢哉 (つつ けんや) さん

「自分は用心深いからだいじょうぶ」「うちの〇〇にかぎって・・・」なんて誰しも思いがちですよ。昔から詐欺という犯罪は手を変え品を変えあるものですが、この一年で爆発的に増えているのが[利殖勧誘詐欺]といわれるもの。先物取引、儲け話をもちかけ人間の欲の部分の甘い言葉で巧みに利用した、巧妙で悪質な手口です。そんな身近に起こりうる犯罪、詐欺について詐欺の手口と現状、対策をお話いただきました。



大切な財産を守るにはどうしたらいいか・・・。まずは話を聞かない事。聞いてしまえば相手のペースに流され気がついたら断れなくなってしまう。

『電話勧誘撃退対策』

- ① ナンバーディスプレイ機能
手続きをするとかかってきた電話の番号が表示されかけてきた相手を把握できる。知らない番号、非通知設定には出ないようにする。
- ② 留守番電話機能
自宅にいても相手がわからなければ出ないようにする。犯人と話さなくて済む。
- ③ 電話帳からの削除
商売をやっていないのであれば自分の情報を広く知らせ

ないほうがよい。卒業アルバム、社員名簿などが闇取引されている事もある。

もしもの時のためにATMでの取引限度額を下げておくことで被害を最小限にすることもできます。しかし、気をつけていても引つかかってしまふのが詐欺。そんな時はまず、冷静になる事が大切です。心にとめておくべきこと
・うまい話は世の中にない
・お金は一生懸命働いて稼ぐもの

そして一番大切になってくるのが『絆』です。家族や友人、ご近所さん。身近に相談できる相手がいれば、自分で決めないで被害を未然に防ぐことができます。ですから普段からお互い声をかけ合って頼れる関係を気づいておくことが、防犯に有効なのです。

しかし、相手も犯罪グループですから、執拗に電話がかかってきたり脅されたり精神的に追い詰められたりすることもあるそうで、身の危険を感じたら迷わず警察や消費者センターに相談しましょう。

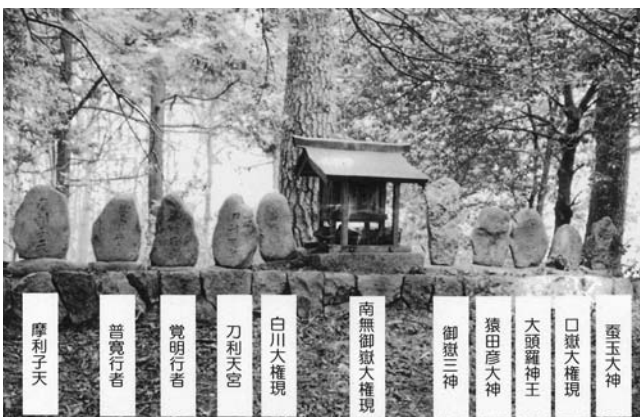
上片桐地区公民館 歴史めぐり 身近にある御嶽山と富士山

上片桐地区公民館の歴史めぐりの当日9月16日。

雲ひとつない好天にめぐまれ歴史めぐりにはもってこいの日となりましたが、毎日続く暑さが少し心配。

30名余りの参加者の皆さんはお滝場より登り始めます。今回の目的地は御嶽山。山頂では南無御嶽大権現を始めとする神々が祀られており私達を待つて？いてくれます。

今もその跡の残るお滝場で身を清めることはできませんが元気に出発。2回目の参加だ



という方は木で作った杖を持参されていました。何の準備もない私は不安定な足元ながらも何とか高原山山頂の富士山(と見做された場所)まで到着。

ここには富士浅間大神を始めとする4神が祀られ、上片桐の富士信仰のもととなりました。私達日本人にとって富士山は心の神様。バス旅行などで富士山が見えると歓声があがるのは自然なことのようにです。

ここからは少し険しい道程になりだんだん口数も少なくなつて足元を見るだけ。まだ着かないか、とそればかり考えていると上の方から到着の音が。

荒い息がおさまる頃、御嶽山に祀られた11神に手を合わせる：信仰という大袈裟なものではなく自然に出るものでした。

行きは良い良い帰りは怖い。すべりやすい松葉に気をつけながらの帰路。神様のお導きか予定に無かつた稲荷社にも寄ることができ、身も心も充たされた思いの歴史めぐりとなりました。

問題
考える
みんな
で
権考
人
を
仲
良
く

ひさい地のふりっつ

北小 4年 岡部桃花

私たちは、松川高校のみなさんといつしよに、東日本大しん災でひがいをうけた宮ぎ県石巻市のみなさんに、ペチュニアを送ることにしました。

松川高校に行つて、ペチュニアのなえの植えかえをしました。この花で、ひがいをうけたみなさんが元気になってくれるように、たくさんのおえを植えました。

植えかえたペチュニアに、学校園委員の人たちといっしょに水をあげたりして、毎日世話をしました。育てたペチュニアを松川高校のみなさんが宮ぎ県石巻市の湊第二小に持って行つてくれることになりました。私たちは「ひがいをうけたみなさんが、笑顔になつてほしい」と思い、小さな画用紙に一言ずつメッセージを書いて、それをもぞう紙にはり「えがお」という大きな字にしました。松川高校のみなさんがどけてくれ、湊

第二小学校のホームページにのつていたので、とてもうれしかったです。湊第二小学校の女の子が、夏休み中、ずっとお水をペチュニアにやっていたという話を聞き、お花とメッセージを送つてよかったなあと思いました。

のこつたペチュニアは、全校の人に一つずつ配りました。



みんな喜んでくれました。種から育てたペチュニアで花だんを作り、いつまでもひさい地のことを忘れずにおうえんするようにと「ひさい地おうえん花だん」という名前にしました。

これからも、ひさい地のことを忘れず、元氣やえがおをどけていきたいと思ひます。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その十三

ふるさと探検シリーズ 「石仏・道祖神めぐり」

私たちが毎日生活している松川町や南信州には、恵まれた自然をはじめ歴史・文化的宝物がたくさんありますが、この地域に住んでいる私たちはその存在や価値について気付かないで入るのが実情です。そこで、松川青年の家では「ふるさと探検シリーズ」という講座を展開して、地元の方々にふるさとの再発見をしていただくよう考えました。

その1回目として計画したのが5月13日の「石仏・道祖神めぐり」です。



その日、私たちは講師の資料館の酒井幸則先生と一緒に清流苑を出発して最初に「居森松」に寄りましました。その後、檜原の地蔵堂

と会所前の石仏群を見てから昼食場所の大島円通庵に向かいました。午後はそこでの見学を終え、最後の見学場所の桜山神社に立ち寄つて清流苑へ戻るといふコースで実施しました。

蚕玉(こだま)様

これはいくつかの場所で見ることができましたが、平らな石(連座)の上に「蚕玉」という字が彫られた大きな丸い石がのつているだけのものや「蚕玉大明神」と神名が刻まれた文字塔タイプがあり、それは場所によつて異なることがわかりました。養蚕の神を祭る桜山神社に対する地域住民の信心が、養蚕から果樹に変わった今でも深いこととも合わせ、昔は養蚕に対する祈りや願いが大きかったことを伺い知ることができました。

庚申(こうしん)様

これは集落の中心地や人よりのする場所に建てられたという石仏で、どこでも見ることができました。昔60日ごとによつてくる庚申の夜は一同お宿に集まり、本尊を礼拝し徹夜で酒食をとつて健康長寿を祈願したそうです。これに

花祭り

より村民の娯楽になつたり連帯が深まつたりしたという話がよく分かりました。

ちようどの日檜原の地蔵堂では花祭りをやつていました。昔はよく見かけた風景でしたが最近あまり見かけなくなつたので、とても懐しく感じました。参加した皆さんもたくさんのお花で飾られた小さなお堂の美しさに感動したり、「甘茶」をいただいたりして楽しい一時を過こしました。このほかに「道祖神」とい



う字が書かれたものや「馬頭観音」「二十三夜様」など数多くの石仏を見

たりお話を聞いたりして、石仏を通して昔の人々の作物や健康に対する祈りだけをなく村民同士のつながりを知ることができ、とても勉強になつた講座でした。

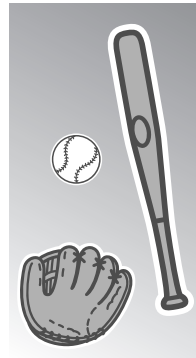


スポーツの秋 みなさんは、何する秋？

第28回中部伊那 軟式野球 松川大会

9月16日(日)、第28回中部伊那軟式野球松川大会が13チームのトーナメントで行われました。結果は次の通り

- 優勝 TEAMマジ
- 準優勝 IWAMURA会
- 3位 ルンペン
- ウィーンズ



平成24年度 OBソフトボールリーグ結果

5月から始まった平成24年度OBソフトボールリーグ戦は、9月11日に閉会式をむかえました。結果は次の通り

- 優勝 上新井
- 準優勝 大島
- 3位 上片桐

夏の囲碁大会

平成24年度、夏の囲碁大会が、8月25日(土)に中央公民館で10名が参加し行われました。結果は次の通り

- 優勝 中平 英雄(五段)
- 準優勝 中川 貞義(四段)
- 3位 小野田忠雄(五段)

えんぱーくで 現地研修

本館社会部では本年度、「災害に強い公民館」というテーマで活動に取り組んでいます。その一環として、塩尻市市民交流センター「えんぱーく」を視察し、現地研修をおこないました。

この建物の地下には、免震構造見学室という部屋があり、実際にその構造について確認することが出来ます。地震の揺れが建物に伝わりにくくなる積層ゴムアイソレーター、振幅によって減衰力の働くオイルダンパー、地面からの揺れの伝わりを軽減するクリアランスなど、その構造について説明をお聞きしながら見学してきました。

また、「えんぱーく」は第39回日本建築士会連合会賞をはじめ、多くの賞を受賞されています。そこで、フリースペースの確保やガラス張りの部屋など、人々が交流するための空間や機能などの様々な工夫について、学んできました。

(本館社会部)



近所で気楽に映画鑑賞 公民館映画会 9月15日

昔々：小学生か中学生の頃体育館に暗幕がひかれて始まる映画会。体育座りでも夢中で見たなかでもデイズ二ーのシンデレラや白雪姫のドレス姿は憧れでした。テレビではヒーロー物のアニメが放送されていてましたがそれとは全然違う動き、流れるような滑らかな動きを優雅たときえ思っただけです。

今年度の公民館映画会は、デイズ二ーの好敵手でもあったフライシャー兄弟によるアニメ映画「バツタ君町に行く」で、子ども連れの若いお父さんお母さんが訪れました。

フライシャー兄弟は皆さんご存じのポパイやスーパーマンを手掛けて注目されました(私はベティさん一押し！)

このアニメに登場するのは昆虫。主人公はバツタ、恋人はミツバチ、世話好きの虫など。はからずも虫達を



社会部員が映写機を準備します

助けた人間の若夫婦は顔は出ずに指先や声で表現されていて想像力をかきたてられました。

物語は人間に住む場所を奪われた虫達が困難を乗り越え心やさしい若夫婦の家の庭に移り住むまでを描いています。

それぞれのキャラクターが魅力的なのはもちろんですが素晴らしいのは全編に溢れる音楽。

喜び、悲しみ、怒り、失意、企み、幸福などの感情。歩く、走る、転ぶ、笑う、泣く、踊るなどの行動。これら全てが的確な音楽で彩られ、聞いているだけで場面が容易に思い浮かぶのは感動的でした。

自宅近くで気楽に映画がみられる映画会。訪れた皆さんも満足されたことでしょう。



長野県公民館活動 功労者表彰受賞 宮澤 武彦さん(前本館体育部)



今年の3月まで、13年間の長きにわたり中央公民館体育部

をやっていたこともあり、スポーツが好きで体育部に入ること

で活動され、この度、長野県公民館活動功労者として表彰を受けました。

また、公民館活動とは別に5年前からお住まいの生田地区でソフトボールのリーグ戦を企画。勝ち負けうんぬんよりみんなで楽しめるようにと、他地区からも参加してもらって続けているそうです。

すぽと みんなでつくりあげる 松川町音楽祭 9月9日

残暑がやわらいだ日曜の後、第23回松川町音楽祭が町民体育館トレーニングルームで行われました。

のある合唱や、聞き入ってしまう大人のコーラスで会場全体が和やかにまりました。

町内の音楽団体が集まる発表の場になっていて、小学生から大人まで幅広い世代の参加者、観覧者が大勢集まりました。オープニング、会場の全員で「ふるさと」を合唱して発表がスタート♪

演奏の部では、つい歌ってしまいう有名な曲や、各団体の趣向を凝らした演奏をきく事ができました。また松川中、松川高校、松川吹奏楽団による吹奏楽の合同演奏は迫力があり、会場が盛り上がりました。

エンディング、吹奏楽の演奏と一緒に「ビリーブ」を全員で



迫力満点の合同演奏



ねこのはなちゃん
東小6年 橋場和樹
このあいだ
僕の飼っていたねこの
はなが死んだ
とてもすきだったねこで
もう20年近く生きていた

ねこは死んだ姿を見せない
というがはなは家の前で死んだ
そして僕は
お墓を作った
スコップで大きい穴をほり
葉っぱのふとんやお花
好きだったシーチキンを入れた
僕はほとんど毎日
お墓参りにいっている
「シーチキンの缶を開ける時
いつもとんできたっけな」
死んでしまったはずなのに
まだ生きているような気がする

最後の運動会

東小6年 市岡麗奈

小学校生活最後の運動会
私ははりきった
この日までにたくさんさんの
練習を積み重ねてきた
6年生として白組をまとめ
よつとがんばってきた
中でも一番がんばってきた
種目はリレーだった
負けた
休み時間、放課後の時間、
チームのみんなとバトンバスの
練習をいっぱいがんばったのに
みんな精一杯がんばったのに
くやして、くやして、くやして
ポコポコとなみだがこぼれた
閉会式では、涙で前がみえない
くらいだった
それだけ、一番がんばった運動会
それだけ、思い出になつた運動会

俳句

新涼

西澤 清子 (中荒町)

まなうらに残像とどめ稲光り
紫陽花や雨粒受けて色深む
果てなき空あるやなしやの風入れす
新涼や身の丈の日日恙なく
星霜をのみ込むごとく走馬燈
見上げている金環日食くつきり
と丸きリングになりて感動
今に来る時速五百の体感を
リニア館にて十五分乗る
時にはと廻りて見ている大型店
買う欲も無し疲れが残る
秋空に突き刺す如く甲斐駒の
豪快な姿に喚声あげる



まちの石仏 ⑩ 「蚕玉さま(4)」(榎原)

まゆだま
繭玉を模した蚕玉様



第2回『地域を知る講座』 戦国時代にタイムスリップ 親子で楽しむ狼煙体験

透けるような秋晴れの
中、『親子で楽しむ狼煙体
験』が9月8日(土)に台城
公園で24名参加のもと行わ
れました。戦国武将の武田
氏の狼煙を上げようとい
うことで、まず松川町資料館
の酒井幸則さんから狼煙に
ついて学びました。その
後、参加した親子で2つの
狼煙を作り、実際に各市町
村で上げた狼煙が見えるか
確認しました。

狼煙とは

「のろし」は、煙や火を使
う通信方法で、古くから、敵
の侵入や攻撃を知らせるなど、
主に戦(いくさ)がらみの合図用に使わ
れました。

「のろし」に当てはまる字
に「狼煙」があります。肉
食獣である狼の糞には、食べ
た獲物の骨や毛皮に含まれる
リンや硝酸カリウムが程よく
混じっていて、この乾燥した

狼の糞を燃やすと煙が真っ直
ぐ立ち上ることから、「狼の
煙」、狼煙と書かれるようにな
ったそうです。

武田氏と狼煙

戦国大名の中で、狼煙の活
用に有効性を見出し、領国・
分国(占領地)内に狼煙台によ
る一大伝達網(ネットワーク)
を設けたのが甲斐の武田氏で
す。

三河、遠江、美濃と国境を
接し、武田氏西方進出の最前
線の下伊那にも、狼煙による
周到な情報伝達ネットワーク
が確立されていました。その
ネットワークを活用し、一朝
有事の場合、各狼煙台を中継
し、短時間のうちに情報を伝
達したとされています。



はりきって狼煙をあげる親子

実際に狼煙をあげる

当日は、最初は根羽村から
始まり各市町村を経由して松
川の順番を待ちました。
結果は・・・



大空にむかってまっすぐ上がる狼煙

目を凝らして高森方面を見つ
めるも、天候の関係もあり狼
煙を確認することができませ
んでしたが、松川も点火。勢
いよく煙が立ち上がりました。
次の中川村の陣馬形の狼煙
は、遠くでしたが確認するこ
とができました。
携帯電話で世界各地が一瞬
にしてつながる現代ですが、
煙から煙で情報を伝達する
という先人の知恵とロマンを感
じるのできるひと時とな
りました。

◎2022年

毎年10月になると決まってる
こと。中津川の菓子店が店舗に併設
する茶房のみで提供している、例
のものを食しに出かけます。察し
が良い方は、もしかして?と思われ
るかもしれません。東濃の伝統菓
子「栗きんとん」ではありません。
ある年、9月30日に訪ねて勢いよ
く注文したところ「明日、10月1日
からですよ」、店員さんがにつこ
り微笑みながら教えてくれた。辛い
経験を踏まえ、はやる心を抑えつつ
10月を待つようにしています。これ
をいただくことで秋の味覚のおい
しさを実感し、日本に暮らしてい
てよかった、とこれまで実感するの
です。

さて、例のもの「の正体は…山
栗しるこ」。小豆を使わず山栗のみ
でこしらえたしるこは、とろろりな
めらか。栗の粒も感じられ、控えめ
に入っているお餅もちょうどよく、
ひと口含めば「うん、幸せ!」。一
年待った甲斐があるというもので
す。栗の風味をじっくり、ゆっくり
味わい、この辺りと言う「皿さら食
べる」状態で器に少しも残すことな
くきれいにいただくことが、私なり
の作法、と言うのは言い過ぎかも。
季節限定の味を求めて皆さんも
ぜひお出かけください。

坂本 美帆

公民館報
「まっかわ」
第 588 号
平成24年10月15日

発行所 松川町公民館 登部
責任者 矢澤 龍共
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)